

たかぎ 2026年10月号 第77号

社協だより

今号の内容

- ② 令和8年度 喬木荘敬老祝賀会
- 赤い羽根募金開始／介護ベッドのお礼
- ③ ふくしの集い告知
- ④ 夏休み宿題会&みんなでランチ会／サマチャレ報告
- ⑤ たかぎボランティア・地域活動情報誌さくみち
- ⑥ 休日業務の休止のお知らせ／寄付のお礼
4か月の予定／職員の一言

●編集・発行● 社会福祉法人喬木村社会福祉協議会 〒395-1107長野県下伊那郡喬木村6670-1 TEL 0265-33-4567 FAX 0265-33-4619
Eメールアドレスtakagi-shakyo@miracle.ocn.ne.jp(代表) ホームページアドレス http://takagi-syakyo.com/
●印 刷● 龍共印刷株式会社

喬木まつり

ふれあい広場 で参加



9月26日(土)に開催された喬木まつりに、喬木村社会福祉協議会は赤い羽根共同募金配分金を利用し「ふれあい広場」として参加しました。

今年は、地域で活動するボランティアの皆様にご協力をいただき、なずなの会による「おやき」の販売、たかぎコーヒーボランティアによるコーヒーの無料提供、ポップコーンの販売を行いました。今回は高校生も協力をしてくれ、慣れない作業にもひたむきに向き合う姿に心が温くなりました。また、社協の事業所紹介を通して、社協の活動を地域の皆さんに知っていただく機会となりました。

なずなの会の皆さんは当日に向けて何度も試作を重ね、より美味しいおやきを届けようと準備をしてくださり、当日は、約200枚のおやきを焼きあげました。コーヒーコーナーでは、男性ボランティアの皆さんが大活躍。来場された方に丁寧にコーヒーを淹れてくださいました。

あいにくの雨となりましたが、多くの皆様に立ち寄っていただき、「おやきがとっても美味しかったよ」「コーヒーで温まったよ」などうれしい声をかけていただきました。

ふれあい広場を通じて、ボランティアの皆様をはじめ、地域の皆様と楽しく交流をすることができました。

※喬木まつりにおいて、令和8年熊本地震災害義援金の募金箱を設置したところ、5,402円の義援金が集まりました。皆さまのご協力に、心より感謝申し上げます。

令和8年度 喬木荘敬老祝賀会



9月の敬老の日にあわせて令和8年度特養喬木荘のお祝い授与式と祝賀会が行われました。授与式では喬木村村長より、百寿の方1名、100歳以上の方4名、白寿の方2名、米寿の方3名がお祝いを受け取られました。祝賀会では筒井知恵子さんによる歌謡舞踊と秋桜+1によるアコーディオン+オカリナ演奏が催されました。昭和歌謡に乗せた踊りに自然と利用者さまの手足も動き、赤とんぼ、青い山脈など懐かしい曲を当時を思い出しながら耳をすませ、大きな声を出して一緒に歌ったりと、楽しい時間を過ごしました。昼食には栗赤飯、カニ茶碗蒸し、天ぷら、紅白なます、りんごのワイン煮などのお祝い献立を食べて頂きました。午後のお茶は皆さんに紅白饅頭、記念品とメッセージカードをお渡しし、盛大に全利用者様のお祝いをすることができました。



赤い羽根共同募金にご協力をよろしくお願いします。



募金運動期間 10月1日～12月31日

10月1日から全国一斉に赤い羽根共同募金運動がはじまりました。

皆様から寄せられた募金は、喬木村の子どもたち・高齢者・障がいのある方などを支える様々な福祉活動のほか、災害時等の被災者支援活動などにも活用されます。

今年度、喬木村共同募金委員会では、**1,020,000 円**を目標として募金活動を実施します。

目標額を定めていますが、共同募金は皆さまのご理解とご協力による**任意の募金**です。募金の趣旨をご理解いただき、無理のない範囲でご協力いただけましたら幸いです。

皆様の温かいご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。



介護ベッドのお礼



社協だより7月号で簡易ベッドの寄付をお願いしたところ、住民の方からお申し出をいただきました。お心遣いに感謝し、宅老所ふれ愛で大切に使用させていただきます。おかげさまで、利用者様も毎日快適に過ごすことができています。ありがとうございました。



**入場
無料****第2回 喬木村社協ふくしの集い****生きづらさを抱えている方に
地域ができること、一人ひとりができること**

家族や地域とのつながりが薄れ、孤立を感じる人が増えています。孤立・孤独は大きな問題となっています。喬木村に住む私たち一人ひとりができること、地域ができるヒントを勝部麗子さんから話していただきます。

**基調講演****講師 勝部 麗子 氏**

(コミュニティソーシャルワーカー)

2004 年度より始まった、大阪府コミュニティソーシャルワーカー (CSW) 設立事業の一期生となる。

大阪府豊中市社会福祉協議会参与

日本福祉大学 非常勤講師

著書に「ひとりぼっちをつくらない～コミュニティソーシャルワーカーの仕事～」

日 時 令和 8 年 **12 月 5 日** **9:30 ~ 12:00** (受付 9:00 ~)**会 場** 喬木村福祉センター 2 階 多目的ホール**対 象** 村内外で関心のある方どなたでも**申 込** 電話、QR コード (下記の参加フォームからもお申し込みができます)**定 員** 80 名 (定員になり次第締め切らせて頂きます)**メ 切** 12 月 1 日 (火)**活動報告** 伊久間つなぐ会**お問合せ・お申し込み****主 催** 喬木村社会福祉協議会**後 援** 喬木村**電 話** 0265-33-4567

参加フォーム



本イベントは地域の皆さまからご協力いただいている社会福祉協議会会費と赤い羽根共同募金によって開催されます。皆さまの温かいご支援に心より感謝申し上げます。

夏休み
企画!

夏休み宿題会& みんなでランチ会



7月31日(金)に村内の小学生を対象に「夏休み宿題会」を開催しました。今回は1年生から6年生まで43名が参加し、「サマーチャレンジボランティア」として参加した高校生12名が子どもたちの学習を見守りました。高校生が「わからないところはある?」と優しく声をかけると、小学生からは「とても分かりやすかった!」と笑みがこぼれ、集中して夏休みの宿題に取り組んでいました。



宿題会の後には、お楽しみの「みんなでランチ会」を開催しました。宿題会に参加した小学生や高校生をはじめ、放課後デイの子どもたち、いきいきクラブの利用者さんや地域住民など総勢128名が参加。地域のボランティアの皆さんが作ったおいしいカレーを全員で囲み、「すごくおいしい!」「おかわりある?」といった賑やかな声があふれました。

世代を超えて、地域の皆さんが温かく交流できる貴重なひとときとなりました。



地域の方々より
カレー用の食材を
ご寄付いただいた
ありがとうございました。



ボランティア活動を通じて、福祉をより身近に感じ、興味を深めてもらう良いきっかけとなりました。

参加した学生たちは関心のある活動を選び、高齢者事業所でのレクリエーションや話し相手、地域のサロン活動、こども学遊館での子どもたちとの交流など、さまざまな活動に積極的に取り組んでいました。参加者からは「普段接する機会が少ない世代の方々や子どもたちと触れ合え、とても貴重な経験になりました」といった感想が寄せられました。

夏休み期間中の7月24日から8月19日にかけて、喬木村の中学生と高校生を対象に「サマーチャレンジボランティア」を開催しました。今年は中学生57名、高校生20名と多くの方々に参加いただき、村内の福祉事業所や地域活動の場でボランティア活動を行いました。

喬木村中学生と高校生の皆さんが
サマーチャレンジボランティア
を行いました



たかぎボランティア・地域活動情報誌

さくみち



令和8年10月発行

編集・発行

喬木村社会福祉協議会

ボランティアセンター

Tel33-5520

fax33-5330

サマーチャレンジボランティア
中高生ボランティア活動の様子

「宅老所」利用者さんとの交流

体操やレクに参加しました。皆さんが笑顔で、本当に素敵だなと感じました。



利用者さんと一緒にお話をすることがとても楽しかったです。

作業をしている時に利用者さんがありがとうございますと言ってくれたことが嬉しかった。



「児童クラブランチ会」カレー作りの様子

たくさん作るのは大変だったけど、児童クラブの子たちがたくさん食べて美味しいと言ってくれたことが嬉しかったです！

「参加された学生の感想」

- 最初は緊張していたけれど、利用者さんが「来てくれてありがとう」と笑顔で声をかけてくれて、楽しく参加することができました。
- 作ったかき氷を美味しいと言って笑顔で食べてくださったことが嬉しかった。普段なかなかできない体験をさせていただき、45分があっという間に終わってしまった。
- 紙芝居を読み終わったとき、たくさんの方から温かい拍手をいただけたことが嬉しかったです。経験したことがないことを体験することができ、勉強になりました。
- 介護に関わるボランティアもやってみたいと思いました。

アスボ歌声喫茶「ギターで歌おう秋の歌」 9/16 開催の様子



「もみじ、里の秋、赤とんぼなど季節の歌も歌いました。」

いつも歌声喫茶にご参加いただきありがとうございます。コーヒーボランティアの方々にご協力をいただき、コーヒーを飲みながら3か月に一度開催しています。

今回も唱歌や懐メロ、フォークソングなど12曲ほど歌いました。あいにくの雨模様でしたが、「ユアサポートぽっぽ」のみなさまにもご参加いただき、賑やかな時間となりました。どなたでも自由にご参加いただけますので、次回は12月か1月頃を予定しています。ぜひお越しください。

歌声サークルヴィレッジ代表 小池明市

喬木村社会福祉協議会の

土曜・祝日の事務所窓口業務

終了のお知らせ

これまで、土曜・祝日は事務所の窓口業務を行ってまいりましたが、職員の勤務体制の見直しを行い、令和9年(2027年)1月をもって土曜・祝日の事務所の窓口業務及び電話対応業務を終了させていただきますことといたしました。

皆様にはご不便をおかけすることとなり誠に申し訳ありませんが、ご理解くださるようお願いいたします。

今後は平日の営業時間内でのご利用をお願いいたします。

ご寄付いただきありがとうございました。

地域からご寄付を届けてくださいました。

大切に使用させていただきます。(R8・8から)

匿名様 10,000円

※他匿名で衣類や紙パンツ、

匿名様 40,000円

パット等ご寄付を頂きました

匿名様 2,000,000円

皆さまの温かいお気持ち、喬木村の優しさを育てています。いつも社協の活動を支えて下さり、本当にありがとうございました。



10月の予定	結婚相談	17日 (土)	19:00~20:00	福祉センター談話室(予約制)
	なずな予防カフェ	27日 (火)	10:00~12:00	アスポ
11月の予定	心配事相談	6日 (金)	10:00~11:00	アスポ
	結婚相談	21日 (土)	19:00~20:00	福祉センター談話室(予約制)
	なずなカフェ	10日 (火)	10:00~12:00	アスポ
12月の予定	なずな予防カフェ	24日 (火)	10:00~12:00	アスポ
	心配事相談	4日 (金)	10:00~11:00	アスポ
	結婚相談	19日 (土)	14:00~17:00	福祉センター談話室(予約制)
	なずなカフェ	8日 (火)	10:00~12:00	アスポ
1月の予定	なずな予防カフェ	22日 (火)	10:00~12:00	アスポ
	心配事相談	8日 (金)	10:00~12:00	アスポ
	なずなカフェ	12日 (火)	10:00~12:00	アスポ

職員のひびく

9月は敬老の日がありました。敬老の日は人生の先輩たちを敬い高齢者を祝う素晴らしい日本の行事です。この時期になると暑さも収まってきて過ごしやすくなってきます。季節が移り変わり彼岸花がみられるようになります。

感染症も早々と流行期に入り、日本各地を見ても地震や線状降水帯、災害があちこちでおきています。世界をみると紛争も続いています。

その一方で、AI 進化の加速は日々様々なメディアで騒がれています。

私は何よりも「人が人を思いやる心」の加速を期待します。〈D.S〉



ご意見・ご要望を
お寄せください

社会福祉法人 喬木村社会福祉協議会

電話 0265-33-4567 fax 0265-33-4619

Eメールアドレス takagi-shakyo@miracle.ocn.ne.jp(代表)

